

塩竈市水道事業100周年記念事業

100周年記念式典

8月4日(土)に、エスポホールで記念式典が行われ、水道事業に貢献された方々に感謝状が贈呈されました。

また、水道週間作品入選者と100周年記念特別賞の表彰が行われました。表彰後には、作文の部で市長賞を受賞した第二小学校の大久保歩武さんが作文を朗読しました。

【感謝状贈呈者】

- **利府町**：春日水源地湧水の利用に協力されるなど、県内初の近代水道創設に貢献
- **高橋伊兵衛さん**：権現堂浄水場建設に必要な用地を提供し、県内初の近代水道創設に貢献
- **仙台市立大倉小学校**：永年にわたり大倉ダム湖周辺の美化活動に取り組み、貴重な水源の環境整備に貢献
- **松森青年会**：多年にわたり大倉水系導水管における漏水事故発生時の復旧などに貢献
- **仙塩地区管工事業協同組合**：多年にわたり応急給水活動に積極的に参加。東日本大震災においていち早く応急給水と復旧活動に貢献
- **塩竈市水友会**：東日本大震災において応急給水活動に積極的に参加されるなどいち早く給水活動に貢献



水道週間作品入選者と100周年記念特別賞表彰者のみなさん

大倉ダム施設見学と記念植樹式

8月25日(土)に、水道週間作品入選者と100周年記念特別受賞者、その保護者や水道モニターの方々が水源地である大倉ダムの見学と、大倉ダム湖畔公園に記念植樹を行いました。

子どもたちは、大倉ダムを見学することで水道に対する理解を深めました。また、記念植樹では、水源の森が豊かになり、おいしい水ができるようにとの思いをこめて植樹しました。



大久保 歩武さん (第二小学校6年)
100周年記念特別賞作文の部で市長賞を受賞

「作文を書いてから、水のことを考えるようになりました」

作文には、昨年の東日本大震災で水道が使えなくなってきたことや、水を大切にしよう、ということを書きました。作文を書くため、いろんな本を読んだ。



高橋 幸衛さん (大和町)

「地域のためになってよかったです」と

高橋伊兵衛は、わたしから5代前の先祖になります。今回塩竈市からお話しを受け、あらためて伊兵衛の功績を考えました。土地を提供したことで、皆さまの役にたてて、子孫としてもよかったですと思います。

感謝状贈呈者高橋伊兵衛さんのご子孫の方々



高橋美恵子さん (権現堂)

「小さい頃は、よく浄水場で遊びました」

わたしの母が伊兵衛の孫にあたります。小さい頃から、伊兵衛は立派な人だったと教えられてきました。昔は浄水場のあたりは家も少なく、松林や畑だったようです。わたしが子どものころは、よく浄水場で遊んでいました。

でみましたが、その中に「世界中にある水を500リットルのペットボトルとすると、その中で使うことのできる水はほんの一滴」と書いてあって、とても驚きました。海や湖など、地球にはたくさん水があるのに、使える水はほんのわずかだなんて、意外でした。

震災のときも、水がなくてとても不便でした。お母さんは、水がない状態で料理や、洗いものをしなくてはならなくて大変そうでした。

今は、「水を大切に」ということを心がけています。



記念式典で作文を朗読しました